

国・県・市の方針

国：生きる力 資質・能力3つ柱
県：有徳の人づくり
市：「富士山を心に、
夢をもって生きる子ども」

本校の強みとよさ

子 供：素直で明るく生き生きと活動できる。
・目標が決まると、それに向けて集中して取り組む。
学 校：特別活動が充実している
・中学校と連携した外国語（英語）指導が充実している。
保・地：地域の応援団が多い。・地区としてのまとまりがある。
・富丘交流センターの開所・全P会員が役員として活躍

本校の教育課題

・学習における自己調整力の育成
・見通しをもち粘り強く取り組む姿勢
・バランスのとれた体力の向上・基礎学力の定着
・人間関係形成能力の育成・家庭学習への自主的な取組
・特別支援教育の充実・道徳性の涵養



学校教育目標：夢をもち、共に学び続ける富丘の子

富士宮第四中学校
学校教育目標
主体的に行動する生徒

学校経営目標

「自己調整力とやり抜く力、コミュニケーション能力、創造性を育む教育の推進」

- ・「自己調整力」：自分の学びの過程や行動を振り返り、調整しながら、よりよくしていく力
- ・「やり抜く力」：目標やゴール、問題解決等に向けて、見通しをもち、あきらめずに努力し続ける力
- ・「コミュニケーション能力」：相手に伝わるように話す力、相手の考えを理解しようと聴く力
- ・「創造性」：身に付けた知識や技能を関連付けたり活用したりして、新たな方法や考えを創り出す力

Action

課題への具体策の改善

- ・職員会議共通理解→アクション
- ・3部会のマスタープランの見直しと提案
(学力向上部会・生活向上部会・健康安全部会)
- ・3部会長による調整会議

安全・安心な学校づくり

- ・感染症防止教育の推進
- ・新しい生活様式の徹底と対応した教育活動
- ・危機予測できる児童の育成
- ・アレルギー対応
- ・学校安全計画の実施
- ・人権意識の向上(傾聴)

げんきな子

- ・教科体育の充実(運動量+コミュニケーション+ICT)
- ・あいであふれる健康観察(あいさつ+アイコンタクト)
- ・見て・聴いて整える生活習慣(時計を見る・チャイム起立・黙働)
- ・感染症やけがを防ぐ健康習慣

やさしい子

- ・主体性が育つ係活動や委員会活動
「We can !」
- ・仲間と認め合うコミュニケーションタイム
「You can !」
- ・すすんであいさつ
「さきおは、plus 1 !」



きいて伝える子

- ・教師と子供がゴールと付けたい力を共有できる単元構想
- ・協働的な学びや相互作用が生まれる学習活動の工夫
- ・個別最適な学びに向けた一人一台パソコン、ICT機器の効果的な活用
- ・コミュニケーションを楽しむ外国語・外国語活動

ユニバーサルデザインを生かした支援

- ・生活環境づくり
- ・授業環境づくり
- ・個に応じた支援体制の構築
- ・LGBTQ等多様性への配慮

Plan

Do

- GIGAスクール構想の実現 ○資質・能力を身に付ける、教科等横断的活動
- キャリア教育とSDGsを各学年でつなぐ「けやき学習」
- 教科領域等と関連させた英語教育推進の継続 ○全教育活動で行う道徳教育

地域との連携

- ・地域学校協働本部事業「富丘小を応援し隊」
- ・地域人材・地域素材の活用
- ・学校便り地域配付
- ・青少年育成連絡会
- ・地域行事(防災訓練・祭り等)への参加

家庭との連携

- ・読書通帳・毎月のメディアデイ
- ・授業につながる家庭学習
(発達段階に応じた学習習慣、自主学習)
- ・基本的な生活習慣の定着

園・中との連携

- ・四中との接続による外国語活動・外国語科への取組の充実
- ・「キャリアパスポート」の接続
- ・四中との児童生徒交流
- ・保育園・幼稚園との交流(学校紹介)

社会に開かれた教育課程の実現

Check

自己評価・他者評価

- ・学校評価の実施と公表(年2回)・PTA常任委員会
- ・学校評議員会・毎月の振り返り(各部会・学年部)
- ・学力・学習状況調査・学力調査の分析
- ・富丘小を応援し隊メンバーによる評価

【評価の視点】	達成目標	1学期	2学期
授業が広がる	90%		
働きがい・誇り・学びの意欲が広がる	90%		
知識・技能に導く学びの意欲が広がる	90%		
本質的なことを学んでいる	80%		
進んで取り組める活動がある	90%		
進んで、学びが広がる	90%		
学びをもち、進んでいく	90%		